

今号の主な内容	
2面	23年度に取り組む主要施策の概要
3面	認知症になっても安心して暮らせるまち
5面	建築紛争予防条例・規則を改正
8面	区政モニター募集
8面	ニュージーランド地震災害救援金にご協力を



しんじゅくコール

☎ (3209) 9999

(午前8時～午後10時、1/1～3を除く毎日)

発行 新宿区 編集 区政情報課 (毎月5・15・25日発行)

〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-4-1 ☎(3209)1111

ホームページ ☎ <http://www.city.shinjuku.lg.jp/>

携帯電話版 ☎ <http://www.city.shinjuku.lg.jp/m/>



携帯電話用二次元コード

平成23年度区政の基本方針を表明

地域で暮らす人々すべてが

夢と希望を持てる地域社会を

築くために

平成23年第1回区議会定例会は2月21日に開会し、平成23年度当初予算案などの各種議案を審議しています。

開会に当たり中山弘子区長は、区政の基本方針と主要施策について所信を表明しました。今回は、その概要をお知らせします。要旨は、新宿区ホームページでご覧いただけます。

【問合せ】企画政策課(本庁舎3階) ☎(5273) 3502へ。

地方分権の確立と 将来にわたり持続 可能な区政の展開

少子高齢・人口減少社会の到来により、支え手が減少し、社会構造が大きく変化するなかで、従来の制度や体制、考え方のままでは、今日の日本の社会が直面するさまざまな課題を解決していくことはできません。

国から地方へ、集権から分権へと、従来の画一的な国のかたちを



所信を表明する中山区長(2月21日)

平成23年度の 区政運営の 基本認識

第一は、区政の総合性を高めることです。

区は、区民に最も身近な基礎自治体として、区民生活が直面するさまざまな課題を解決するため、現場現実を重視した柔軟かつ総合性の高い区政運営を行わなければならない。

政策の立案にあたっては、常に区民の目線で、区民が真に必要なサービスを提供し、効果的、効率的に提供していくことが大切です。

私は、区が現場を持つという強みを活かして、施策の総合化を図り、誰もがいきいきと暮らせるまちづくりを進めていくとともに、区民生活が直面する喫緊の課題に対しても機敏かつ的確に対応してまいります。

そして、次世代育成支援施策や高齢者施策、障害者施策などを総合的に推進し、また、災害に強い都市づくりや地域ぐるみで防災に取り組む体制づくりなどを進めます。

第二は、区民との協働と参画を進めることです。

さまざまな能力や経験を持つ多くの区民の皆様を力を発揮できる機会を創出し、区政や地域社会に参加できる仕組みを構築することが必要です。地域に向き合い、地域のことを考え、地域を支えていく意識を持った多くの方が積極的に区政に参加するとともに、NPO活動や仕事などのさまざまな分野で活躍していただくことが、地域を活性化し、新宿区を大きく変えていく力となります。

こうした取り組みを進めるためには、何よりも多様な主体が互いの役割、立場を理解しあい、信頼関係を築いていくことが大切です。そのことが共に生き、共に暮らす共生社会の実現につながります。

そのためには、私はこれまで以上に積極的な区政情報の提供や情報公開を行うことで、公正で透明性の高い区政を実現し、協働と参画の実質を高めていきます。

第三は、自治のまち新宿を創ることです。

新宿のまちは、江戸時代以来、人々の往来・交流の拠点として、歴史と伝統を持ち、常に時代の先端を走り、多様な文化を育んできました。そして、緑や水辺などの貴重な自然、由緒ある名所や旧跡、数々の文化財、伝統行事など、多くのまちの記憶を有しています。こうした貴重な資源を活用し、人々のまちへの愛着と誇りを高めていくことが、自治意識の醸成につながります。

新宿区は、昨年10月、新宿区における「自治の基本ルール」となる新宿区自治基本条例を制定しました。この条例は、区民、区議会、区の三者が、足かけ4年にわたって検討してきた成果です。

私は、この条例の理念の下に、自治のまち新宿の実現に向け、地域のことは地域が責任を持って決め実行する分権型社会の実現に努めてまいります。

自律的な行財政 運営を目指して

区民サービスの向上を図り、新たな課題に対して、機敏かつ的確に対応していくためには、自治体運営の基本原則である「最少の経費で最大の効果を挙げる」という観点から、より一層、行財政改革に取り組んでいくことが必要です。

23年度は、新宿区第一次実行計画の総仕上げの年であり、計画目標の達成に向けて引き続き積極的に取り組むとともに、多角的な視点、現場現実からの発想で、事務事業の見直しなどにも果敢に挑戦していく必要があります。そして、24年度からの新宿区第二次実行計画の策定につ



「さくら公園と私たち」をテーマに6年生と区長が意見を交換(富久小学校での小・中学生フォーラム)



子どもから大人まで走りを楽しみ(新宿シティハーフマラソン・区民健康マラソン)

なげていかなければなりません。

こうした考え方を踏まえ、今後に限られた資源を重点的かつ効果的に投入し、分権型社会にふさわしい区政運営の推進に向け、全力を尽くしてまいります。そして、これらのことを実現していくうえで、何よりも大切なことは、世界が平和であることです。私たち一人ひとりが平和の尊さ、大切さに思いを馳せ、相互理解を深めていきたいと思っています。

私は、新宿区長として、三期目となる4年間を務めさせていただくことになりました。

区民の皆様の新宿区政に対する期待の大きさと新宿区への愛着の深さを強く胸に刻み、今後の区政運営に積極的に活かしてまいります。

「主要施策の概要」を2面に掲載しています。